馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が**「馬」**ではなく**「人間」**である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この**「馬の耳」**を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。

発行日　2013年2月1日
発行元　㈲沼津電話工事
スマイルワン
小野博文
〒410-0022　静岡県沼津市大岡3916-8
055-921-1551　tel
055-922-1144　fax
http://www.net-ndk.co.jp/
ono@net-ndk.co.jp

【】

早いですねぇ～　もう、一ヶ月が終わってしまいました。（汗）一日一日を大切に生きたいですね！

先日、チベット人のバイマーヤンジン先生から、日本とチベットの文化・習慣の違いや、教育の事情などについて、話を聞く機会がありました。
先生は、たぶん私と同世代？　くらいですから、そんなに昔の話ではないと思いますが、遊牧民であった両親は字が読めず、とても苦労をされたそうです。

なので、どんなに苦労をしても、自分の子供たちだけは学校にと、強く望んでいたようです。
そんな思い受けて、ヤンジン先生は一生懸命勉強をされたそうです。電気のない自宅では夜勉強が出来ないので、公衆トイレの電気の下で、勉強をしたそうです。そんな甲斐もあり、みごと何千倍という競争に勝ち抜け、中国国立四川音楽大学に入学されました。そこでは、人種差別のいじめに合い、大変苦労をさせたそうですが、家族を始め、自分を応援してくれたチベットの方のためにも、負けるわけにはいかないと、耐え忍び卒業後にはこの大学で講師として教壇にも立たれたそうです。

私たちは、そんな大切な命があると同時に、教育を受け、字が読めます。２４時間、電気があり、冷暖房もあります。近くに病院があり、最先端の適切な治療を受けることが出来ます。しかも、
皆さんは「ノストラダムスの大予言」って知っています？　１９９９年７の月に人類が滅亡するってヤツです。私たちはそれを乗り越えてきました。
去年「マヤ暦滅亡論」ってありましたよね。
２０１２年１２月２３日に世界が滅亡するってヤツです。私たちはそれも乗り越えてきました。

私は今年５０歳になります。
５０歳というと江戸時代の人は死んでいたんですよ。
ようするに、何回もの滅亡の危機を乗り越え、江戸時代だったらもう終わっている人生を生きられる訳ですから、これからの人生、ある意味“儲けもん”

【弱点は武器になる】

皆さんは、手品師、マジシャンというと、どなたを思い浮かべますか？
マリック？　セロ？　ふじいあきら？　引田天功？
有名な方がたくさんいらっしゃいますよね。
でも、そんななか、私はすぐに“マギー司郎さん”を思い浮かべます。
手品って、「不思議な事をする」「あっと驚かすことをする」っていうのが一般的ですが、マギー司郎さんの手品には、「笑い」という付加価値？　があるんですよね。私はその「一般手品＋笑い」というスタイル？　にとても魅力を感じ、私もそんな手品をしたいなぁと思っています。（笑）

マギー司郎さんは、小さい時から目が悪くて、そのせいか運動が苦手で、成績も良くなく、中学校しか出ていません。
芸の道（手品）に入ってからも手先が不器用のため、上手く演じられず、うだつが上がらない時代が続きました。ある時、いつもと同じように舞台に立っている時に、「僕は、手品があまり上手にできないんですよねぇ～　すみません。」とポロっと言ってしまったら、お客様が大笑いをして受け入れてくれたそうです。
それから自信がつき、今の“おしゃべりマジック”が出来上がったというのです。

本当だったら、手品師で、手品がうまく出来ないって致命的じゃないですか！　でも、“おしゃべりマジック”は、立派な“芸”として認められて、お弟子さんだって、何名もいらっしゃるんですよ。
なにがどう転ぶかわかりませんねっ。マギー司郎さんは、「弱点は武器になる。自分の弱点さらけ出せば、人は強くなれる。」と話しています。
だれでも、弱点って持っていますよね。コンプレックスになって、それが重荷になったりもします。でも実はその弱点が、自分を救う大きな強みかもしれません。
私も、弱点、コンプレックスをたくさん持っています。自分を救う強み、いっぱいあるのかもしれません。

【】

若年層

沼津経営塾開催日

2月14日（木）沼津市民文化センター　第四会議室　PM7:00より

お馬様の今月のお言葉